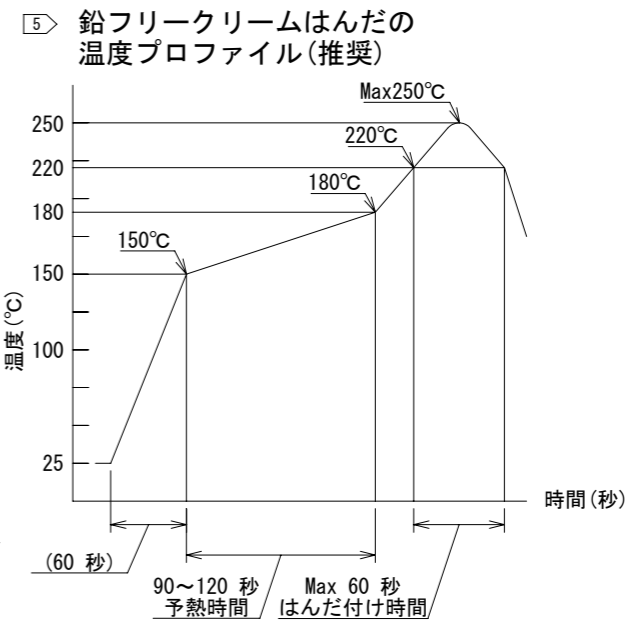
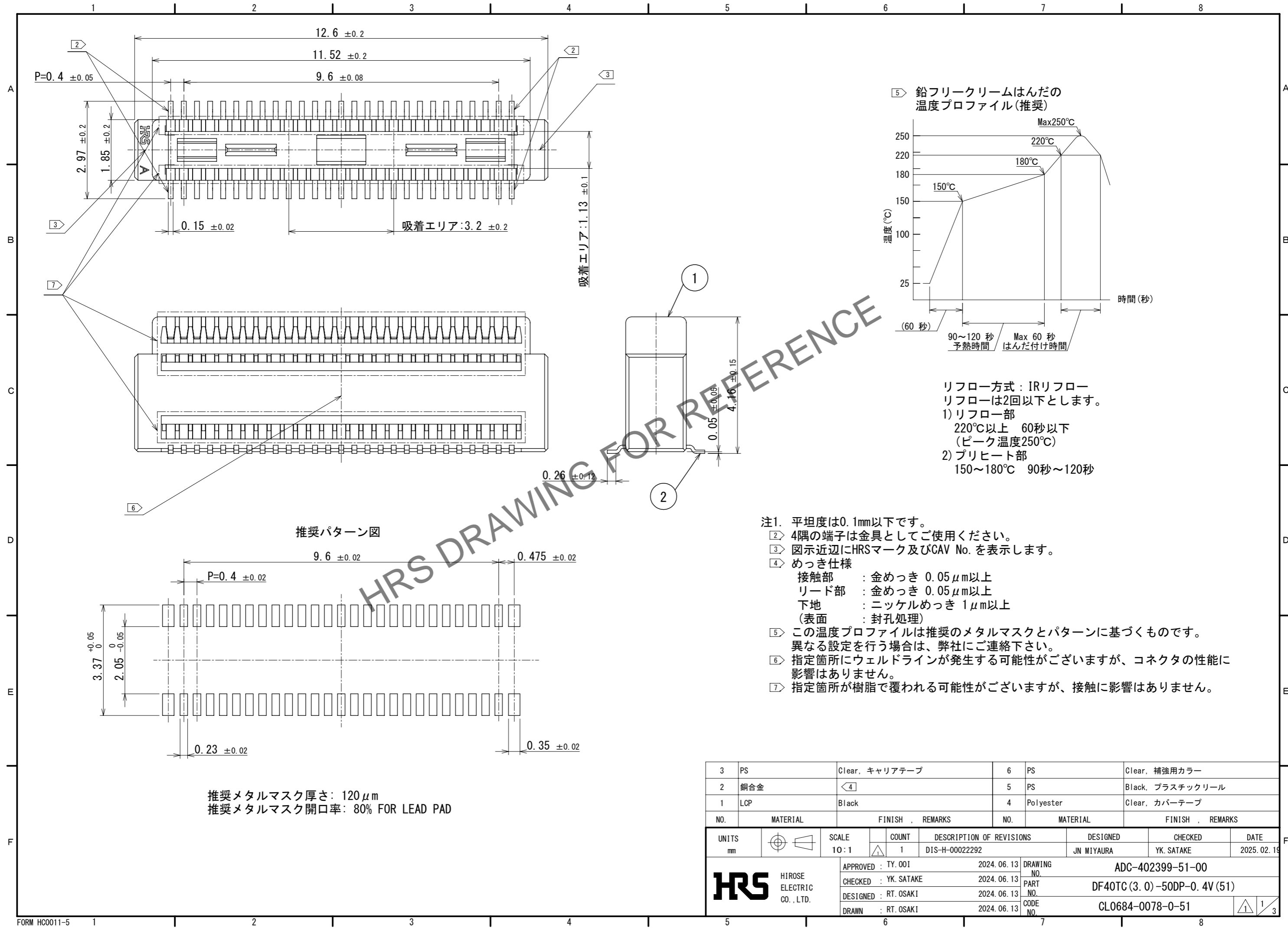
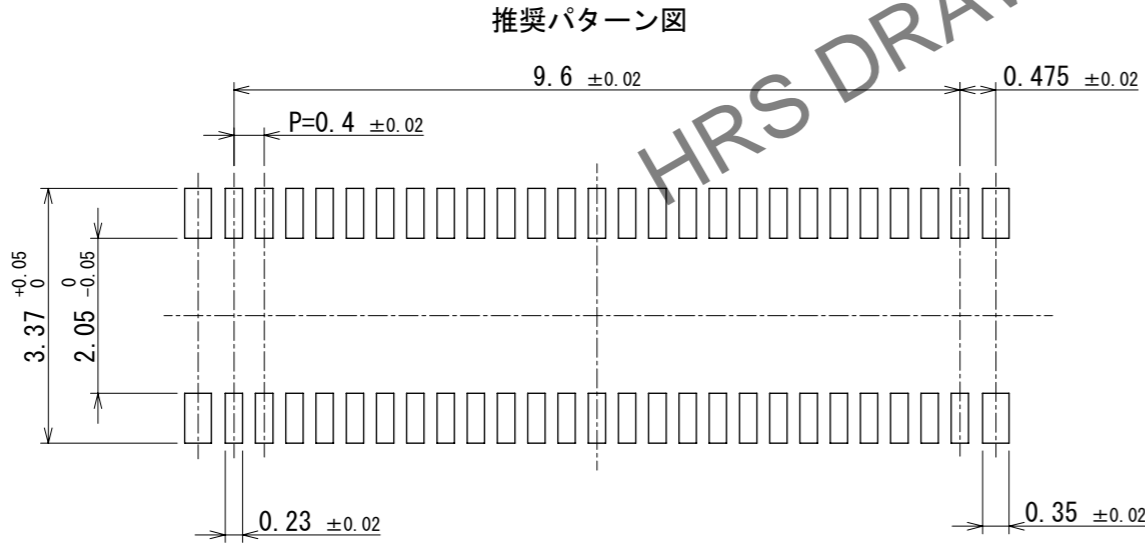


Mar.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.  
 本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。



リフロー方式：IRリフロー  
 リフローは2回以下とします。  
 1) リフロー部  
 220°C以上 60秒以下  
 (ピーク温度250°C)  
 2) プリヒート部  
 150~180°C 90秒~120秒

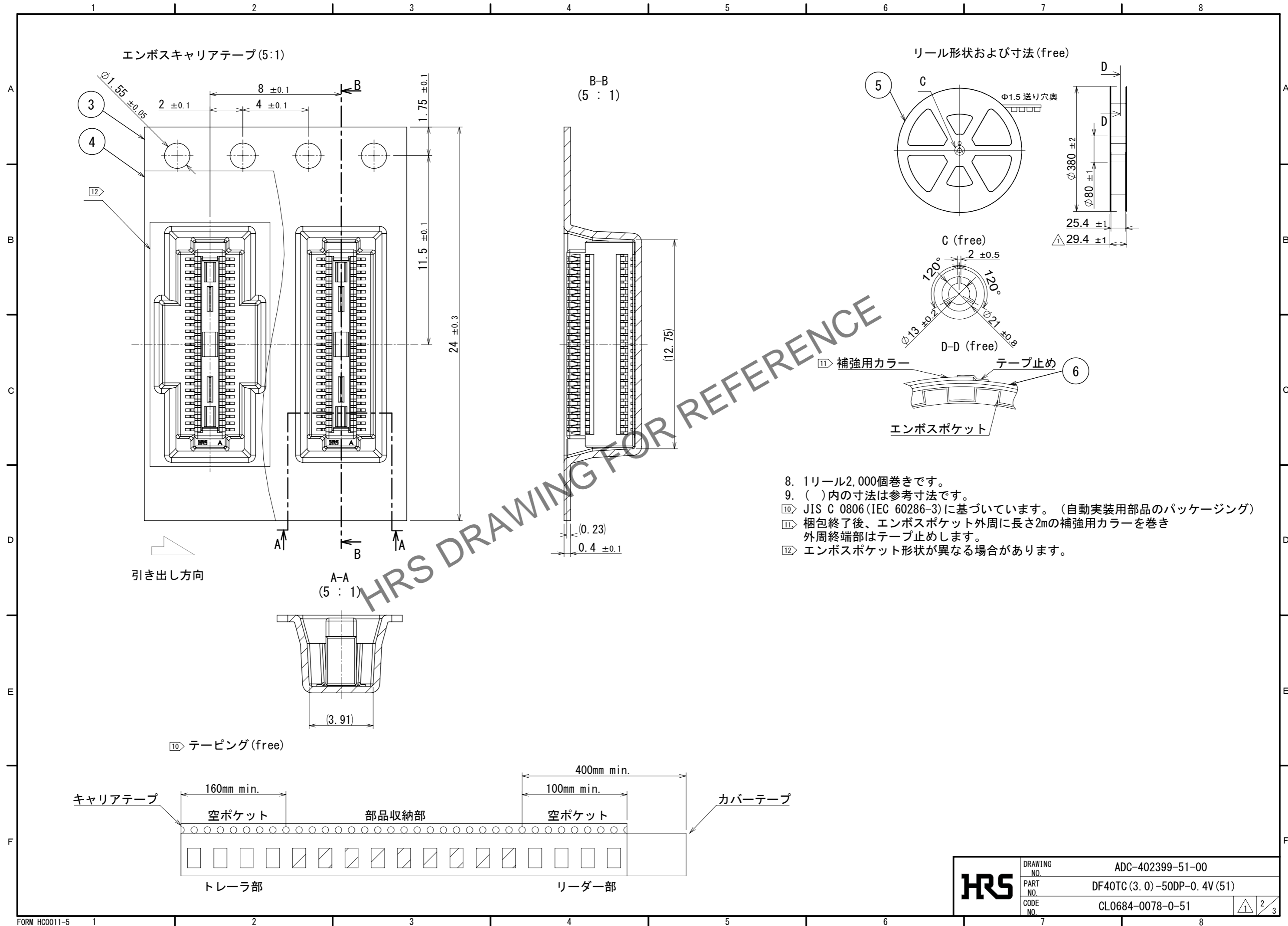
- 注1. 平坦度は0.1mm以下です。  
 ② 4隅の端子は金具としてご使用ください。  
 ③ 図示近辺にHRSマーク及びCAV No. を表示します。  
 ④ めっき仕様  
 接触部 : 金めっき 0.05 μm以上  
 リード部 : 金めっき 0.05 μm以上  
 下地 : ニッケルめっき 1 μm以上  
 (表面 : 封孔処理)  
 ⑤ この温度プロファイルは推奨のメタルマスクとパターンに基づくものです。異なる設定を行う場合は、弊社にご連絡下さい。  
 ⑥ 指定箇所にてウェルドラインが発生する可能性がございますが、コネクタの性能に影響はありません。  
 ⑦ 指定箇所が樹脂で覆われる可能性がございますが、接触に影響はありません。



推奨メタルマスク厚さ: 120 μm  
 推奨メタルマスク開口率: 80% FOR LEAD PAD

3	PS	Clear, キャリアテープ	6	PS	Clear, 補強用カラー		
2	銅合金	④	5	PS	Black, プラスチックリール		
1	LCP	Black	4	Polyester	Clear, カバーテープ		
NO.	MATERIAL	FINISH	REMARKS	NO.	MATERIAL	FINISH	REMARKS
UNITS	mm	SCALE	10:1	COUNT	1	DESCRIPTION OF REVISIONS	
						DESIGNED	JN MIYaura
						CHECKED	YK. SATAKE
						DATE	2025. 02. 19
APPROVED : TY. OOI		2024. 06. 13		DRAWING NO.		ADC-402399-51-00	
CHECKED : YK. SATAKE		2024. 06. 13		PART NO.		DF40TC (3. 0) -50DP-0. 4V (51)	
DESIGNED : RT. OSAKI		2024. 06. 13		CODE NO.		CL0684-0078-0-51	
DRAWN : RT. OSAKI		2024. 06. 13					

Mar.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.  
 本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

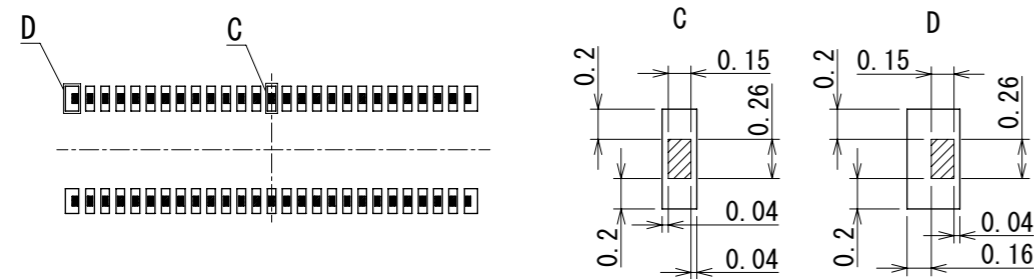


- 8. 1リール2,000個巻きです。
- 9. ( )内の寸法は参考寸法です。
- 10 JIS C 0806 (IEC 60286-3)に基づいています。(自動実装用部品のパッケージング)
- 11 梱包終了後、エンボスポケット外周に長さ2mの補強用カラーを巻き外周終端部はテープ止めます。
- 12 エンボスポケット形状が異なる場合があります。

<b>HRS</b>	DRAWING NO.	ADC-402399-51-00	2/3
	PART NO.	DF40TC (3.0)-50DP-0.4V (51)	
	CODE NO.	CL0684-0078-0-51	

13. 操作の詳細に関してはガイドライン ATAD-H1015 を参照ください。

リードと推奨パッドの位置関係に関して



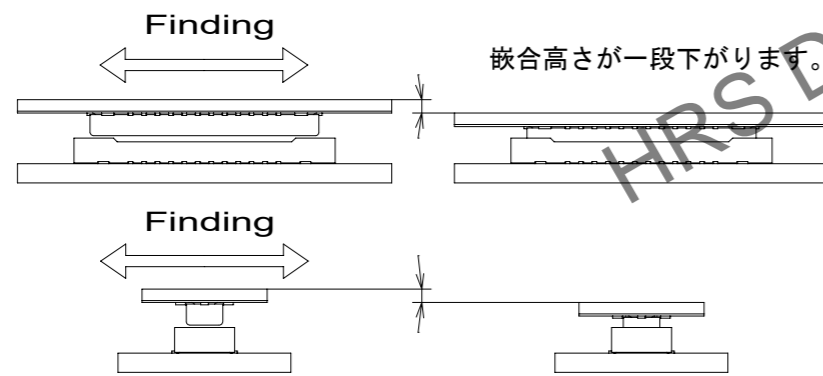
■ リード部  
□ 推奨パッド

コネクタ嵌合方法に関して

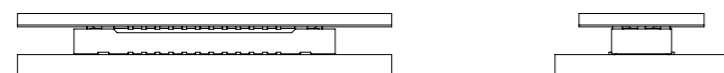
本製品を嵌合させる際は、手で嵌合頂くようお願い致します。

嵌合の手順

- (1) 誘い込みを手探りで探して、位置合わせを行って下さい。  
本製品は嵌合をうまく誘い込む為、誘い込みのガイドリブを設けています。  
位置合わせが出来ると、コネクタが誘い込まれます。  
誘い込まれると、コネクタの嵌合高さが一段下がるのが、手触りでわかります。



- (2) 誘い込まれた状態では、コネクタ同士が平行になっており、前後左右にコネクタを動かすことができない状態になっています。この状態から、嵌合を最後まで行って下さい。

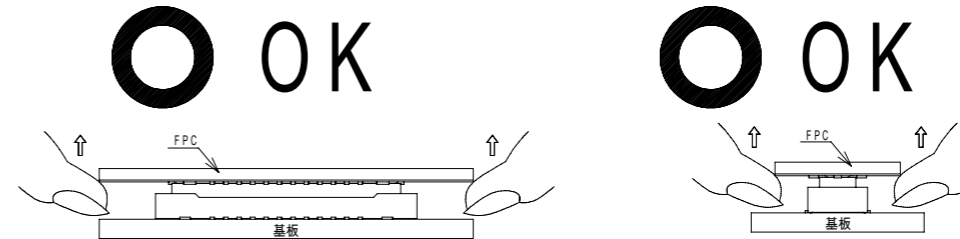


- (3) 嵌合が最後まで行われているか確認をしてください。  
片側が浮いている場合や斜めに嵌合されている場合は、一度嵌合を外し、再度嵌合し直して下さい。

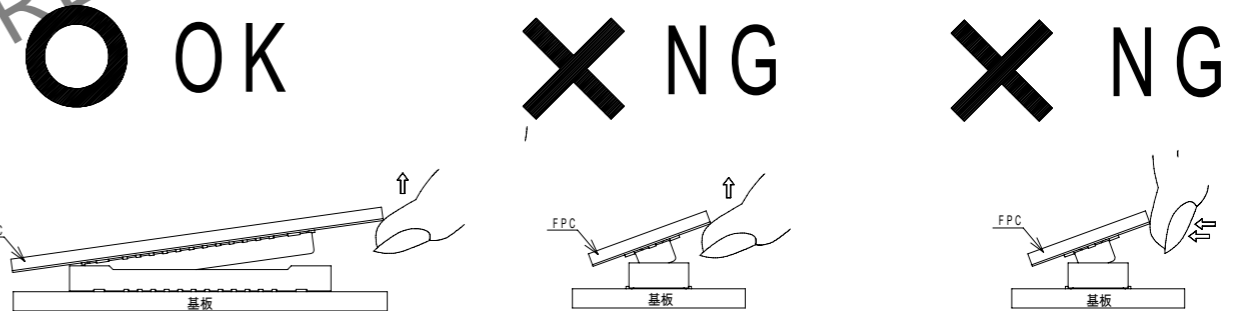
コネクタの取り外し方法に関して

本製品を嵌合させる際は、手で嵌合頂くようお願い致します。

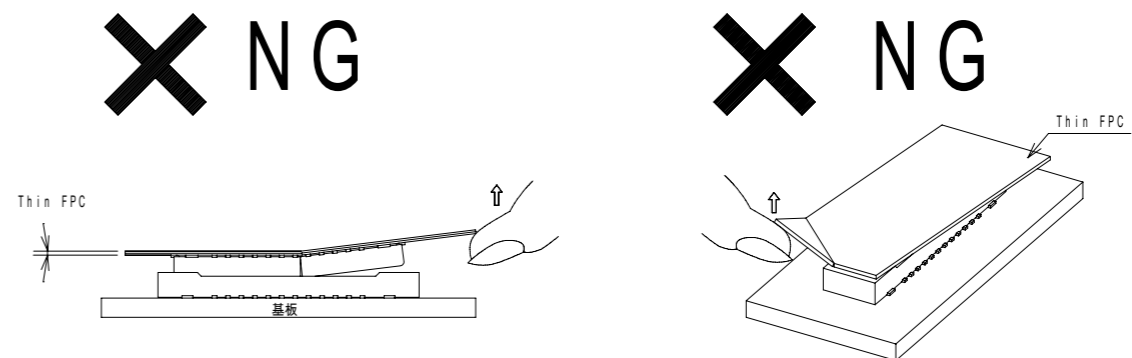
- (1) コネクタを取り外す際は、コネクタ搭載面に対して垂直報告に抜くのが望ましいですが、基板対FPCでの取り外しの場合は、多極になればなるほど、また、FPCの厚みが薄いと、垂直方向に取り外すのは困難になります。



- (2) 取り外しが困難な場合は、ピッチ方向側に斜めに取り外して下さい。  
幅方向側からの取り外しは端子に大きな負担がかかりますので、ご注意ください。  
なお、幅方向から取り外す場合はFPCの端を垂直方向に引っ張り取り外して下さい。  
(水平方向へ力が加わると端子に大きな負担が掛かります。)



- (3) FPCに十分な剛性がない場合は、はんだ剥離、コネクタ折れが発生する場合がありますので、試作時など事前にご使用頂くFPCで繰り返し動作を確認の上、ご使用をお願い致します。  
また、FPCのコーナー部を持って、斜めに取り外すと、端子に大きな負担が掛かりますので、行わないで下さい。



<b>HRS</b>	DRAWING NO.	ADC-402399-51-00
	PART NO.	DF40TC (3.0)-50DP-0.4V (51)
	CODE NO.	CL0684-0078-0-51
	1/3	

Mar.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved. 本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問い合わせ下さい。